

第3回定例会 一般質問通告書

平成 30 年 9 月 19 日

番号	件 名	氏 名
1	人口減少に対する町の今後の考えは	山 根 善 夫
2	北野地区のため池について	山 根 善 夫
3	地域の防災対策について	清 水 敏 保
4	農業振興のための新たな仕組みづくりを	山 戸 孝
5	住人の安全確保のためにも、よりいっそうのイノシシ対策を	山 戸 孝

5件 3人

一般質問通告書

平成30年第3回上関町議会定例会（9月）

◆質問者1 山根善夫	
質問事項	質問要旨
1. 人口減少に対する町の今後の考えは	<p>上関町では定住対策として、住宅の建設や子育て世代への支援事業などの施策を進めているが、人口減少の傾向は続いているというのが現状ではないだろうか。町の活性化には子育てをする若い世代の力が必要不可欠ではないかと考える。そこで定住対策を一步進めて、外部の力を活用する。つまり移住を希望する若い世代の受け入れをする対策も施策のひとつとして考えていくことも必要ではないかと考える。このことについて、どのような考えを持っているのかお聞きしたい。</p>
2. 北野地区のため池について	<p>以前、ため池の改修工事を行ったが、その後も漏れは止まらず、荒れた状態が続いている。これを放置しておけば、落石や土砂災害など誘発するのではないかと危惧するところである。</p> <p>今後の地域農業の維持・振興そして安全確保のためにも、ため池の現状を把握し、補修を含めた対応をしていただきたく、町長の考えをお伺いしたい。</p>
◆質問者2 清水敏保	
質問事項	質問要旨
地域の防災体制について	<p>①本町の公共施設（避難場所）の整備状況と今後の取り組みについて尋ねたい。</p> <p>②地域に避難場所として使用が可能な空き家があれば、空き家対策の一環として取り組みを考えてみては如何か。</p>
◆質問者3 山戸孝	
質問事項	質問要旨
1. 農業振興のための新たな仕組みづくりを	<p>①生産者と行政に、消費者や販売者側の目線も合わせた上で、新たな農産物生産への取り組みや栽培方法、販売方法等を協議、検討する場を作る必要があると考えるが、町長の考えは。</p> <p>②道の駅から販売する立場としての意見や消費者からの意見を生産者にフィードバックし、また、生産</p>

	<p>者同士で共有できるような仕組みが必要と思うが、町長の考えは。また、そういったことは現状の道の駅の体制で可能か。</p>
<p>2. 住民の安全確保のためにも、よりいっそうのイノシシ対策を</p>	<p>①イノシシなどによる農作物の被害金額を把握しているか。把握している場合、ここ5年の被害金額はどのように推移しているか。</p> <p>②町が貸し出した箱罠によるイノシシの昨年度の捕獲数、また、箱罠の本年度の購入数と来年度の購入の方向性は。</p> <p>③高齢のため費用面や設置作業の負担を理由に、防除策の購入をためらううちに、イノシシの被害にあって耕作を止めてしまう例も出てきている。例えば、年齢制限を付ける、また使用期限を定めるなどして防除柵の貸し出しなどできないか。</p> <p>④イノシシの出没に対して、注意喚起や見守り、集団での登下校といった方法以外に子供たちの安全を守る方策はどのように考えているか。また、イノシシやマムシなど危険な生物への対応は学校でどのように教えているか。</p>